

大垣市青少年健全育成計画策定委員会第2回会議 会議録

1. と き 平成22年9月28日（火）14:00～16:15

2. ところ 大垣市役所本庁舎3階 合同委員会室

3. 議 題

- (1) 大垣市青少年健全育成計画策定に関する資料（2）について
- (2) 大垣市青少年健全育成計画（素案）について
- (3) 今後の進め方について

4. 出席者（敬称略）

(1)委 員（5人）

吉村正弘、三宅 治、長瀬ちえ子、大石英文、日比千穂

(2)事務局（9人）

教育委員会事務局長	北村武久
教育委員会事務局社会教育スポーツ課長	大山正行
教育委員会事務局社会教育スポーツ課主幹	牧村昭伸
教育委員会事務局社会教育スポーツ課長補佐兼青少年係長	小寺隆司
教育委員会事務局社会教育スポーツ課社会教育係長	林 昭義
教育委員会事務局社会教育スポーツ課主査	小川哲司
教育委員会事務局庶務課長	坂 喜美和
教育委員会事務局庶務課長補佐兼庶務係長	守屋明彦
教育委員会事務局庶務課主査	近藤哲也

5. 欠席者（敬称略）

なし

6. 傍聴者（敬称略）

なし

7. 内 容

大山 課長

皆さん、本日は大変ご多用の中、ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。ただいまから、大垣市青少年健全育成計画策定委員会の第2回会議を開催させていただきます。私、進行を務めさせていただきます、社会教育スポーツ課長の大山でございます。よろしくお願いいたします。それでは、ここで、吉村委員長様より、ごあいさつをいただきたいと存じます。

吉村 委員長

本日は、大変お忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
ご案内のとおり、7月21日に、第1回会議を開催し、「大垣市青少年健全育成計画」の策定について、事務局から資料を説明いただき、皆様から多くの建設的なご意見をいただきました。

吉村 委員長	<p>そして、皆様の意見を踏まえまして、事務局が「大垣市青少年健全育成計画」の素案を作成し、事務局から本日の会議前に皆様に郵送いただいたところであります。</p> <p>皆様には、お忙しい中、「大垣市青少年健全育成計画」の素案をお読みいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>今日は、「大垣市青少年健全育成計画」の素案について、皆様からご意見を賜りまして、「大垣市青少年健全育成計画」をよりよい計画にして、青少年の健全育成を推進してまいりたいと思います。</p> <p>今後とも、皆様方のご協力をいただきながら、本策定委員会を円滑に進めてまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、会議の冒頭にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
大山 課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議題の前に、資料の確認をさせていただきます。本日の資料は、本日の次第資料「大垣市青少年健全育成計画策定委員会 第2回会議次第」、オレンジ色の表紙の「資料No.3 大垣市青少年健全育成計画策定に関する資料(2)」、ピンク色の表紙の「資料No.4 大垣市青少年健全育成計画(素案)」、以上でございます。</p> <p>「資料No.4 大垣市青少年健全育成計画(素案)」につきましては、前もって郵送させていただきましたが、「現状と課題」等、一部調整中のところがありましたので、本日表紙をピンク色にしまして、改めて用意いたしました。資料の確認をお願いいたします。</p> <p>それでは、次に次第の3、「議題」に移りたいと存じます。これよりの進行は、吉村委員長様にお務めいただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。</p>
吉村 委員長	<p>それでは、議長を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。皆様方のご協力によりまして、会議がスムーズに運営できますよう、ご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、今日の会議につきましては、傍聴の希望者はございませんのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。議題の(1)、「大垣市青少年健全育成計画策定に関する資料(2)」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
牧村 主幹	<p>【大垣市青少年健全育成計画策定に関する資料(2)に基づき、説明】</p>
吉村 委員長	<p>ただいま事務局から「大垣市青少年健全育成計画策定に関する資料(2)」について説明いただきました。ここまででご質問はございますか。</p>
委員	<p>【 発言なし 】</p>
吉村 委員長	<p>よろしいでしょうか。それではまた後で質問があれば聞いていただくことにしまして、次に進めさせていただきますと思います。</p> <p>それでは、次に、議題の(2)「大垣市青少年健全育成計画(素案)について」、事務局から説明をお願いいたします。</p>

小寺 補佐	【大垣市青少年健全育成計画（素案）に基づき、「第1章 計画の策定にあたって」を説明】
林 係長	【大垣市青少年健全育成計画（素案）に基づき、「第2章 現状と課題」を説明】
吉村 委員長	ただいま、事務局から大垣市青少年健全育成計画（素案）のうち、「第1章 計画の策定にあたって」、「第2章 現状と課題」を説明していただきました。ここまでのところで、何かご意見等ございませんでしょうか。
三宅 副委員長	どこの範囲で、でしょうか。
吉村 委員長	今説明していただいた範囲で、どちらの項目でも結構です。
三宅 副委員長	それでは、よろしいでしょうか。「計画の策定にあたって」のところ、非常によくまとめているのですが、計画策定の趣旨の最後のところ、字句が間違っていると思います。「青少年育成健全計画」とありますが、正しくは、「青少年健全育成計画」であると思いますので、訂正をお願いいたします。
小寺 補佐	失礼しました。訂正いたします。
三宅 副委員長	もう1点あるのですが、2の計画の位置づけというところで、「生涯学習」とありまして、教育振興基本方針では、「社会教育（生涯学習）」とありまして、また、2ページの一番下から4行目のところで、「社会教育の振興」とあります。生涯学習の概念規定をどのようにしていらっしゃるのか、これは「社会教育（生涯教育）」なのか、それとも何か意図があるのかどうかと思ひまして、お伺いいたします。私は、特に意図はないと思うのですが、どれかにあわせて、整合性を図っていく必要があるのではないかと思います。
吉村 委員長	いかがでしょうか。
小寺 補佐	はい、教育振興基本方針では、「社会教育（生涯学習）」と使っています。そこで、教育振興基本方針の表記に合わせさせていただきたいと思ひます。「社会教育（生涯学習）」という形で、統一を図りたいと思ひますのでよろしくお願ひします。
三宅 副委員長	はい、わかりました。
吉村 委員長	それでは、よろしくお願ひします。そのほかに何かございませんでしょうか。
日比 委員	よろしいでしょうか。
吉村 委員長	はい、どうぞ。
日比 委員	漢字の間違いですが、2ページの真ん中のあたりで、岐阜県教育ビジョンの中の「豊かな自然」が「豊な自然」となっていますが、「か」を入れるのが正しいと思ひますので、よろしくお願ひします。

吉村 委員長	岐阜県教育ビジョンの中の「豊かな自然」のところで、「か」が抜けているのではないかと、ということですね。
小寺 補佐	「豊かな自然」のところに、「か」を入れて、「豊かな自然」と訂正させていただきます。
三宅 副委員長	現状ですのでどうということはないのですが、17ページの図表21のところの思春期子育て講座参加者数が、平成19年が818人で、20年が150人で、21年が501人となっています。平成20年があまりにも少ないもので、何かあったのかと思ひまして、お伺いいたします。
林 係長	<p>思春期の講座につきましては、中学生を対象に各中学校で開催していただいているのですが、平成20年度については学校の事情だとは思いますが、3校でしか実施いただけなかった、ということです。</p> <p>1中学校あたりの参加者数でみると、平成18年度も20年度も21年度も50人程度となっています。平成19年度はどの中学校もがんばっていただけたということです。</p> <p>教育委員会としましては、毎年すべての中学校で1回ずつ実施していただくようお願いしておりまして、今年度も全10中学校での実施をお願いしておりますので、よろしくお願ひします。</p>
吉村 委員長	間違いではなく、実際に実施回数が少なかったということですね。
林 係長	はい、そのとおりです。
吉村 委員長	実施しても、しなくてもこちらがどうこう言わないということですね。
林 係長	教育委員会としましては、すべての中学校に、さまざまな機会を利用して実施していただきたいというお願ひをしているところでございます。
三宅 副委員長	<p>それでは、現状のところでもう1点よろしいでしょうか。</p> <p>子ども会活動についてですが、ある時期より活動がものすごく鈍っているのではないかと感じています。これは、いろいろな原因があつてということだと思います。そこで、この子ども会活動をもう一度てこ入れをしていくかどうか、ということが第1点です。</p> <p>もうひとつは「家庭の日」についてですが、昭和42年に県が条例をつくり、確かに力を入れて啓発しながら普及に努めてきた時期もあつたと思うのですが、もう条例ができてから43年が経過しています。最近では、実際に「家庭の日」について言われなくなつてきていると思うのですが、どうでしょうか。</p>
吉村 委員長	実は、そのことには気がついていまして、今年から「家庭の日」を見直そうということになっています。「家庭の日」がはじめにできたのは、やはり家族の絆を深めよう、ということでしたが、その家庭の絆が現在は薄れつつあります。西南濃の青少年育成指導員会という会議が昨日あつたのですが、そこでも、「家庭の日」をもっと見直していかななくてはいけないということになっており、現在進めているところです。

三宅 副委員長	<p>わかりました。現在「家庭の日」が形骸化している部分がある、だからここで見直してもっと力を入れていく、ということであればわかるのですが、現状と次のところも同じような表記になっていますので、どうかと思い発言いたしました。</p> <p>「家庭の日」は、確におっしゃるとおり、非常に大事ですので、ここで見直して力を入れていくということは、とても重要なことだと思います。そうであれば、今まで現状として、どこに問題があったのか、そこを考えることが大事ではないかと思えます。</p>
大石 委員	<p>はい、今の「家庭の日」についてですが、現状を見てみると、「家庭の日」に地域で、いろいろな行事を組んでいるという状況があります。</p> <p>「家庭の日」とはいったい何なのか、家庭で行うのか、または家族そろって地域の活動に参加するのか、そのあたりの趣旨がある程度明確にならないと、中途半端に終わっていくのではないかと、という気がしています。</p> <p>別の話になりますが、先ほどの説明の中で、ジュニアリーダーの話がありました。13ページを見ますと、ジュニアリーダーがここ数年ずっとかなりの数減ってきています。その原因というのは、どのように捉えてみえるのか、と思いながら説明を聞かせていただいております。</p> <p>平成18年に90人であった会員が、平成22年には、22人になっています。これから増加に転ずる方策等あるのかどうか、それともそういう見込みはないのか、少年リーダーとして生かしていこうとすれば、ある程度の人数が必要であるのではないかと、それならそれで方策が必要であると思えます。</p>
吉村 委員長	<p>先ほどの、「家庭の日」のことですが、大垣市で「家庭の日推進」全市一斉クリーン活動を実施しているわけですが、私が思うに、クリーン活動のほうに重点がいている気がします。</p> <p>先日も青少年育成推進委員会があり、校区における「家庭の日」の取り組みについて意見交換をしたのですが、ほとんどがクリーン活動のほうに重点がいてしまっている気がしました。</p> <p>そこで、これから「家庭の日」を見直さないといけない、という話をしておりました。クリーン活動をはじめ何十年と経過しているのですが、クリーン活動は「家庭の日」を推進するための活動ということをお忘れしている人が多い気がします。</p> <p>ただ、荒崎校区では、毎月第3日曜日はPTAと子どもと一緒に空き缶拾いをずっと以前から継続して行っています。</p>
三宅 副委員長	<p>今は小学生もクラブ活動が盛んになりましたので、日曜日などは第3日曜日とか関係なく、試合とか練習とか組んであります。ですから、本当にその日をどのように捉えて、どのように実施していくか、ある程度考えないといけないと思えます。</p>
吉村 委員長	<p>実は、市民会議では、5月と10月の「家庭の日」は、何が何でも「家庭の日」を推進していこう、とずっと前から取り組んできました。しかし、以前は、10月の「家庭の日」に運動会や体育祭が行われていました。そして、10月10日の体育の日は何もやっていませんでした。そこで、市民会議からお願いをして、10月10日は「体育の日」と決まっているので、なぜその日にやっていただけないのか、第3日曜日には「家庭の日」と決まっているので、できるだけ行事を</p>

吉村 委員長	<p>企画せず、家庭で過ごせるように協力してほしい、ということをお願いをしました。</p> <p>そうしましたら、特に第3日曜日に実施するという深い意味はないので、第3日曜日に運動会や体育祭をやるのをやめますとだけいただきました。</p> <p>ただ、難しいこともありまして、第3日曜日の家庭の日に少年団で出て行く子どもがいますが、残った人がクリーン活動することになります。親子でクリーン活動に行くのでよいかとも思いますが、学校などでは少年団をやっている子はいいですが、家にいる子にクエスチョンがついているのですね。その子たちだけが清掃活動をしていてよいのか、ということもあります。</p> <p>やはりそれでは駄目なので、できるだけ第3日曜日は行事を避けてほしい、ということをお願いしています。西濃でも昨日の話ですと、半分くらいが「家庭の日」にほかのことをやらないようにしているようです。</p> <p>「現状と課題」までで、そのほかに意見等よろしかったでしょうか。</p>
三宅 副委員長	<p>ここの課題のところがしっかり位置づいていると、次の施策とか事業の中に、このように位置づけました、ということが言えると思います。</p>
吉村 委員長	<p>それでは、はじめから順番に、課題について確認していきますか。</p> <p>どうですか、はじめの、2. 青少年、のところの、(1) 乳幼児期、(2) 学童期、(3) 思春期、はどうでしょうか。</p>
三宅 副委員長	<p>子ども会活動のところですが、「子ども会活動は、地域における少年活動の中心を担う重要なものであり、今後とも活性化を図っていく必要があります。」ということが書いてあるのですが、子ども会活動が、スポーツ少年団とかいろいろな行事の中で、なかなか地域の子ども会が成立していかない部分があります。</p> <p>9ページに子ども会の会員数と書いてありますが、これは学校の生徒の数なのかな、と思いますが、特に上石津では、以前地域で15人、20人いた子どもが、今は1人、2人しかいない地域があります。そこで子ども会を成立させようとしても成立しないわけですね。</p> <p>旧大垣市内のようにたくさんいらっしゃる場所は、問題はあってもいいかもしれませんが、人数の面では成立しえると思います。しかし、単位の子ども会が体をなさない上石津のような状況もあるのですね。これは、一部の地域ですが。</p> <p>では、このような状態で、どうやって子ども会を成立させていくか、ということになるのですね。せめて20人、30人ということになりますと、1キロくらい離れた地域の人たちが集まらないといけません。身近でできる子ども会というのがなかなか成立しないですね。</p> <p>ですから、それぞれ地域によって問題を抱えているのではないかと思います。</p>
林 係長	<p>単位自治会で子どもがいない場合ですと、自治会は違いますが、子ども会はとなりの町内と一緒にになるとか、合同で活動するなどしている地区もあるようですね。</p>
三宅 副委員長	<p>しかし、1キロくらい離れていますので、近いところはそれでもよいと思うのですが。旧市内はどうですか。子ども会は活発ですか。</p>

林 係長	<p>子ども会も他の会と同じように役員が毎年変わっていきますので、毎年同じことをやっているとか、マンネリ化しているところもあると思います。</p>
吉村 委員長	<p>しかし、最近の子どもは普段ゲームとかばかりしているので、結構子ども会を楽しみにしているところもあります。そういうところは見受けられます。</p>
日比 委員	<p>子どもは忙しくて、なかなか友達とご飯を食べる時間もないので、一緒に学校以外の場所でご飯を食べることが楽しみであったり、この日はカレーライスがあるので、みんなお皿とスプーンを持っていくということ自体が楽しみであったりするようです。</p> <p>それでも旧市内でも子どもの人数は減っているので、今はもう高校生になりましたが、私の娘が小学校1年生だったところと比べると今は3分の2くらいの人数に減ってきています。</p> <p>この先の人数を見てみると、小学校1、2年生のところはぐっと減るので、最初70人から80人いたのが、そのころには、20人から30人になってしまうのではないかと、思います。</p>
長瀬 委員	<p>私は北地区ですが、夏にデイキャンプをやって、冬には、餅つき大会をやっていきます。そのときに募集をかけると親子あわせてですが、300人以上集まってきます。年に数回ある大きな催し物にはたくさんの参加者が集まり、北地区が一体となった活動ができています。</p> <p>しかし、各町内に分かると、小学生は集まりますが、中学生は部活動等があり、なかなか集まってきません。小学生は、行事が終わってもなかなか帰らず、和気あいあいと遅くまで遊んでいます。そういう縦のつながりは子ども会でないと難しいと思います。</p>
牧村 主幹	<p>ここには載せていませんが、社会教育委員さんのアンケートの中にも、子ども会について意見がございました。やはり子ども会活動のマンネリ化ということが1点、そして、先ほどのリーダーの育成の話ともかかわりがありますが、大人が全部行事を仕組み過ぎてしまって、子どもがただ行事に参加するだけになっている、もっと子どもに主体性をもたせた子ども会活動が必要ではないか、というご意見もありました。</p> <p>子ども会活動そのものの実情というものが、地域によって違うと思います。地域によっては子どもが主体で活動しているところもあるでしょうが、企画からすべて親がやっているところもあると思います。果たしてそれが子ども会か、というようなご意見もいただいておりますので、そういった部分も今後見直していく必要があると感じております。</p>
長瀬 委員	<p>親が中心という話ですが、やる気のある親さんが集まった年は大変行事が多くなりますけども、行事を面倒と思う親さんが集まった年は、行事が少なくなってしまうということが、目に見えてわかります。ですから、子ども中心ではないのだな、と感じます。</p>
日比 委員	<p>ちょうど私たちが子どもだったころは、活動がすごく活発になっていたころだと思うのですが、予算を決めるところから子どもが関わって、こうやって行事をやっていくのかという気持ちを持ちながら活動していたことをすごく覚えてます。</p>

日比 委員	<p>三宅先生と一緒に上石津だったものですから、子ども会とは別で、山の神というお祭りがあるのですが、寄附金を集めてくるところからスタートして、本当に子どもの自主性で企画を企て、一日どんな風に遊ぶかを考えなければいけない日が、年に二日、春に一日と秋に一日、ありました。</p> <p>ただ、今現実に子どもたちに、そこまで時間ある？と聞くと、それぞれに少年団はあるし、塾とかもあるし、お稽古ごともあるしで、なかなかそこまで集まって話し合う時間がないと思います。そのあたりが、課題にもなってくると思います。</p>
大石 委員	<p>小さな子ども会、町内の子ども会ならまだしも、たとえば私は安井校区ですが、それだけの回数集まらないと自主的には活動ができないということですから、大人が仕組んでしまって、お膳立てをして、子どもはその日に参加するだけ、参加して楽しんで帰っていく、そんなことが多いのではないかと、現状ではないかと思っています。</p> <p>子どもたちが忙しい現実の中で、なかなか回数集まってやるができない、そういうことが原因としてあるのではないかと思っています。</p>
吉村 委員長	<p>本来、子ども会活動は子どもたちが率先して行うということですよ。</p>
三宅 副委員長	<p>そうです。そういうことができるように、リーダー研修をやられるわけです。しかし、リーダー研修にどんどん参加しなくなっているということになると、そういうところでの指導もできなくなってしまいますね。</p>
林 係長	<p>それにあわせて、育成者の研修をもっと充実していかななくてはいけないのかという気がしますね。役員さんも、子どもに仕掛けるために何をしたいのかわからないということもあるかもしれませんね。本当はもっと面白い遊びやゲームがあるということを知ってもらうためにも研修を充実させるということもひとつかなと思います。</p>
長瀬 委員	<p>子ども会研修会が年に何回かあって、そういう研修会に参加しても、ほかの地域がどうしているのかを見てくるだけ、という申し訳ないのですが、なかなかそれを自分の地域に取り入れようというところまではまだできていません。ですから、そういう研修会が行われていても、それを実践に生かすまでがなかなかできていないのではないかな、と思います。</p>
吉村 委員長	<p>こういうことはなかなか難しい問題ですね。</p>
小寺 補佐	<p>最近、地域での住民の活動が希薄化しているということで、子ども会も全国組織ですから、中央で大会があったりして、育成者の方に参加いただいているのですが、都会に行くほど構成率が非常に悪くて、ひどいところだと、60%くらいしか子ども会が成立していないようなところもあるらしいです。</p> <p>大垣市では、会員としては、小中学校の子どもがみんな子ども会に入っていますし、人数は少ないかもしれませんが、どの自治会でも子ども会は存在していますので、他都市と比べるとまだよいのかな、という状態です。今後このあたりに力を入れていかないと、このままでは崩れてしまうだけなので、なんとか支援をしていきたい、ということが現状でございます。</p>

日比 委員	都会には登校班がないですね。
小寺 補佐	子どもが地域の学校に通っているとは限りませんので。
吉村 委員長	子ども会の活動の課題の中で、リーダーの育成をしていくということはいいのでしょうが、親、大人がどうという部分は書く必要がないでしょうか。
三宅 副委員長	指導者の育成という部分はなかなか難しいと思います。50代や60代の方で長年子ども会育成の活動をしていただいている方はよいでしょうが、高学年の親さんが順番なのでお願いします、というように一年活動されたら交代されるというようなことがよくあります。それでは何もできませんよね。
吉村 委員長	青少年健全育成計画素案の現状と課題の部分はこのあたりでよろしかったでしょうか。
委員	【 発言なし 】
吉村 委員長	それでは、時間も限られておりますので、次に、「第3章 基本理念・基本目標」、「第4章 計画の展開」について、事務局から説明をお願いいたします。
小寺補佐	【大垣市青少年健全育成計画（素案）に基づき、「第3章 基本理念・基本目標」、「第4章 計画の展開について」を説明】
牧村 主幹	【大垣市青少年健全育成計画（素案）に基づき、「第4章 計画の展開について」のうち「3. 重点施策」を説明】
吉村 委員長	ただいま事務局から「大垣市青少年健全育成計画（素案）」の「第3章 基本理念・基本目標」、「第4章 計画の展開について」説明いただきました。これにつきまして、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。
三宅 副委員長	ひとつよろしいですか。
吉村 委員長	どうぞ。
三宅 副委員長	29ページに目標指標がありますね。ここに計画の最終の年、平成26年度、5年後の到達目標がここに書いてあります。これは、重点施策に対する目標であるのか、基本施策ごとに作られている目標なのか、ということを見ると、これは基本施策ごとに作られている目標であると思います。そのうちの基本施策の(1)「乳幼児期からの教育の充実」に対して「親子向け講座の種類」という目標になっています。乳幼児期からの教育には、乳幼児期、学童期、思春期に分けてあるので、乳幼児期の講座の数、学童期の講座の数、思春期の講座の数、これを26年度の具体的な到達目標にしていくということならわかりますが。 それから、(3)に「小中学校において開催される家庭教育学級への平均参加率」が17.6%とありますが、これはどういう意味でしょうか。

林 係長	市内の各小中学校に家庭教育学級がありますが、現状は、その学級に参加していただける親さんは平均して、約17%としかいないという意味です。
三宅 副委員長	わかりました。
日比 委員	今、PTAをやっていますが、中学校になると本当に平均参加率がガクンと下がって、この17.6%は小学生も入っての数字だと思いますので、ここまでの数字になるのだと思います。
林 係長	中学校になると一桁ですね。
日比 委員	さらに目標指数が、30.0%、1.7倍となっていて、他の目標は1.7倍もないと思うと、PTAとしては負担が重いな、という気持ちでこの数字を見させてくださいなんですけど、どうしてここだけ1.7倍なのですか。
林 係長	数字的には、ちょっと厳しいですかね。
日比 委員	はい。
林 係長	今、日比さんは母親代表ですか。
日比 委員	はい。
林 係長	やはり参加率は悪いですよ。
日比 委員	はい、参加率を上げるのはなかなか難しいですね。 子育てをしつつ母親が働けるような体制づくりすすめている今の社会の中で、子育てをしながら働いてみえる親さんがすごくたくさんいます。 家庭教育学級のあり方も、昼間にやっていたらもちろん参加率が下がるし、また夜やれば夜で、働いている親さんが夜に出て行くというのが本当に上手に時間を使わないとできないし、子ども一緒に参加できるような家庭教育学級でないと、小学校なんかはなかなか出て行けないと思います。また、中学校になると、「塾の送り迎えがあるの」と言われてしまうと、そんな中でボランティア的なことは出てきてくださるけれど、家庭教育的なことになると「ちょっと無理」って言われてしまいます。
長瀬 委員	結局、役員とか携わっている人しかいないのが実情ですね。 それと、「家庭教育学級とか参加しているとPTAの役員になるよ」、と言われることもあります。参加すればするほど、「あの人は積極的にでてるから役員にどうだろう」ということが言われる、といううわさが流れてしまって、参加されない、という人も聞いたことがあります。
林 係長	授業参観が終わった後とかにやったりもしますよね。
長瀬 委員	参加には見えるのですが、そういった講座になると皆さん帰ってしまうのですね。ですから、自分の子どもは見に来るのですが、その後の懇談とか行事になると皆さん帰られてしまいます。

林 係長	懇談会とかよくやってみえますものね。
長瀬 委員	ですから、懇談会を開いてもね、参加される方は決まった人という感じになってしまいますね。
日比 委員	進路説明会は別ですよ。ほとんどのお母さんが参加されます。
長瀬 委員	ですから、自分の子どもに関係あることについては出られます。 参加される講座にしようと思っても、皆さんになかなか参加していただけなかったのが実情でしたね。
日比 委員	それこそ企業の方に努力していただかないといけない話かもしれませんね。そういう休暇を午後からとってよいですよ、とか、年間4日間くらいとってよいですよ、とか、そういう制度があると出ただけのかもしれないですね。
吉村 委員長	今までのやり方ではいけないということですね。今の話を聞いていると、目標の参加率が30%どころか15%くらいに下がってしまう、ということにもなりかねませんね。
大石 委員	<p>今、家庭教育学級に関わっているのですが、家庭教育学級で人を集めようと思えば、講座内容を給食試食会なんかにすると参加者数が多くなります、特に小学校ではね。しかし、講演会形式とか何かになるとちょっと難しい話とかになると人が減ってしまうのですね。</p> <p>ということは、家庭教育学級で何を指すのか、ということを考えたときに、では給食試食会ばかりやっていたらいいのか、ということになります。もちろん、給食の内容を知ってもらうことも大切ですが、家庭教育学級の内容がしっかりしていないと、結局30%を目指したとしてもなんだろう、ということになってしまいます。</p> <p>そういう観点で他の目標数値を見ると、親子向け講座の種類を増やしたとしても、それで本当に親子の関係がよくなったのか、ですとか、はっきりしない部分もあるのかと思います。</p> <p>数字では達成できたということが言えたとしても、それが青少年健全育成計画の中でめざす姿になってきているのか、「心豊かにたくましく生きる子どもを育みます」とか「家庭、学校、地域が協働し、子育て日本一のまちをめざします」とかに、どのようにつながってくるのか、というところが大切なのだと思います。</p> <p>私がこういうものを見ていつもじれったくなるのは、たとえば33ページにこんなことが書いてありますね、「市民からの意見・提案等」の部分に、「子どものころの教育が一番大事である。善悪、生死、犯罪、先輩(大人、老人等)を敬うなど、人間が生きていくための基本的なことを繰り返し教えていくことが大切である。」と。</p> <p>では、それぞれの講座を開くとか、健全な青少年を育むとか、そういう言葉はあるのだけれども、家庭教育で最低限何をやったらいいのか、といったような共通的なものが全くないですね。それぞれ講座を開き、それぞれの講師がよいことを言われるのだけれども、その柱になるものが何もないのではないのか、そんなことを思います。</p>

大石 委員	<p>たくさんの講座をやったから、親子の関係をものすごく意識してもらえるようになった、ということならよいのかもかもしれません。それには、講座を開くときには、親子の関係で、これと、これと、これを最低限盛り込んでほしい、とかそういうものがないと難しいのかな、と思います。</p> <p>結局、今は多様とかそれぞれの生き方があると言われてしまって、立ち入れない部分があります。そうではなくて、家庭教育では最低限これだけは、というところがあってもよいのかな、と基本目標を見ながら思っていました。</p> <p>基本施策の中に、たとえば、「乳幼児期からの教育の充実」では、乳幼児期にはこんな指導、こういう具体的な姿、というものを示してもよいのかな、「家庭教育学級の充実」では、こんな家庭教育をこんな三本柱でやってもらいますよ、ですとかそんなことがあってもよいのかな、と思います。そういうことをいろいろな講座を開くとき意識するとひとつの形になるのかな、ということの思いながら説明を聞いておりました。</p>
三宅 副委員長	<p>妊娠期ですとか乳幼児期の家庭教育の講座の参加率というのは、統計をとってないのでわかりませんか。乳幼児期からの家庭教育が大事である、ということですが、どれくらい参加していらっしゃるのですかね。参加率がよいのかもかもしれませんね。</p>
林 係長	<p>妊娠期の講座は、保健センターがやっている検診にあわせて行いますので、検診にみえる方は全員参加されますので、参加率は高いと思います。</p>
大石 委員	<p>妊娠期の講座は多くの方が参加されるでしょうね。</p> <p>本当に子どもが小さいうちから、発達障害などの話もしてもらおうとよいと思います。</p> <p>なかなか全員がそろって話を聞いていただけるという機会は少ないと思います。参加していただけない親さんは参加していただけない、というのはずっと続いている課題だと思いますので、やはり少しでもたくさんの方が参加されるときに話をきいてもらおうとよいと思います。</p>
吉村 委員長	<p>幼児期というのは、本当に大切な時期ですね。三つ子の魂百までも、と昔から言いますが、そのあたりのことが大切になっていくのかなと思います。</p>
三宅 副委員長	<p>よろしいですか。</p> <p>「(2) 健全な青少年を育成」、の目標指標のところ、大垣ジュニアリーダーズクラブの会員数、子ども会リーダースクールの定員に対する参加者の割合、という2つの目標がここにあげてあります。</p> <p>「(2) 健全な青少年を育成」の中には、青少年施設の充実と利用の促進、というのがあるのですが、「青年の家の利用状況」のような指数は必要ないのですか。青年の家の利用状況は、今はここまでしか利用者がいないので、平成26年度までにはここまで利用者を上げる、というような目標は必要ありませんか。</p>
日比 委員	<p>青年の家の利用の仕方が、青少年に限定して利用を認めているわけではなくて、さまざまな団体さんが使っていらっしゃるので、青少年のみという数字の出し方ができているのかどうか、よくわかりません。</p>

林 係長	そうですね。サークル活動として利用される場合もありますからね。
日比 委員	おおむね40歳くらいまでということにしてあるのだけれど、結局そうではない部分もあります。
三宅 副委員長	<p>小学校の児童が100人未満のところは、いわゆる青少年施設ではないのですが、上石津緑の村公園なんかの施設を利用して、体験研修ができると思います。</p> <p>上石津の中でいろいろなメニューを考えながら、一つのプランとして研修するということがよいと思います。また、社会教育関係団体のようなあまり人数が少ない団体ですと自然体験を含めて研修の場となりうるのではないかな、と思います。せっかくそういう施設がありますので、利用するとよいと思います。</p> <p>社会教育施設ではありませんが、そういう文言が入っていませんでしたので、ちょっとお話をさせていただきました。</p>
日比 委員	野外活動センターとかもありますよね。
林 係長	そうですね。緑の村公園とか、そういう体験施設がありますからね。
三宅 副委員長	<p>今度上石津の5年生が2泊3日の研修を緑の村公園でやるそうです。</p> <p>牧田のいわゆる二又（ふたまた）古墳から、桑原邸を含めて、勝地（かちじ）までの施設、そして多良の高木陣屋から象の足跡が出たあたりまで、そういうところを含めながら研修します。そしてもうひとつは、整備されました、烏帽子岳（えぼしだけ）を登るといというプログラムです。これらを2泊3日のプログラムでやる計画を、今小学校で企画しているようです。</p> <p>そこまではしなくても、ウッディドームがありますし、体験コーナーで青少年の活動に関わるような研修は、自然の中でできるのではないかと、いうように思います。</p> <p>それから、もう一点、本文の中ですが、施策と主要事業という書き方がしてあります。この中で、私が、異質かな、と思いますのは、「(2) 健全な青少年を育成」の中の、「②地域社会における青少年健全育成」の中の、「5) 自己責任意識の涵養」と「6) 共感・共生意識の涵養」です。</p> <p>これは、講座ですとか、いろいろな活動の中で培っていきたい力であると思いますので、これが主要事業にあたるのかどうか、ちょっとそのあたりがどうか、と思います。</p> <p>非常に大事なことではあるのですが、ここに主要事業としてあげて他の主要事業と並べて比べると異質かな、と思います。何かの言葉の中にも入ってくるとよいのかもしれないね。</p>
大石 委員	ある意味、「自己責任意識の涵養」、「共感・共生意識の涵養」、こういうことがめざす姿なのかもしれませんね。ですから、こういうことを達成するために、いろいろな活動をしていくのでしょうか。
三宅 副委員長	<p>前回の会議で、大垣市教育振興基本方針等をご説明いただいて、4つの柱で進めていく、というお話を伺いましたが、そこから比べるとすごくがんばられて、つくりこんでいらしたことが本当によくわかります。</p> <p>4つの柱は同じですが、中に書かれていることはぜんぜん違いますものね。そういう面でも本当に大変だったと思います。</p>

林 係長	重点施策はどうですかね。44、45ページに2つあげてあるのですが。
吉村 委員長	<p>44、45ページにまとめてある、というわけでもないですが、これを重点にしてやっていく、ということで2つの施策が書いてありますが、どうでしょうか。</p> <p>こういう、44、45ページに書いてあることが必要なので、前までにくわしく書いてある主要事業があるのではないかな、そうすると、順番が逆なのではないかな、という気がして先ほどから見ておりました。</p> <p>重点施策が先にあって、だからこういう細かい主要事業をやっていくのだ、というようになる気もしないことはないですが、どうでしょうか。</p> <p>前のほうで、細かいことを全部うたって、後ろで大雑把といっちは申し訳ないのですけれど、まとめてきていると思えばよいのかもしれませんが、どうでしょうか。</p>
三宅 副委員長	<p>この基本施策が、びっしりとありますが、重点施策を、基本施策が4つある中で特に、この施策とこの施策を重点にやっていくというのか、もう少し絞っていくのか、そのあたりがどうかと思います。</p> <p>この重点施策は、施策の体系で言うところどこででてくるのでしょうか。</p>
林 係長	<p>重点施策の(1)は、基本施策の「(4) 学校、家庭、地域が連携し、明るく健全な社会を構築」のうち、施策で「② 地域や学校と連携した安全・安心な環境づくり」の3つの主要事業です。</p> <p>また、重点施策の(2)は、同じく基本施策の「(4) 学校、家庭、地域が連携し、明るく健全な社会を構築」のうち、施策で「③地域や学校と連携した家庭教育支援」の5つの主要事業です。</p>
三宅 副委員長	なるほど、この2つということですね。
吉村 会長	どうでしょうか。
三宅 副委員長	今日見せていただいて、すぐにと言われても。まだ2回あるじゃないですか。
吉村 会長	<p>重点施策の前までに、細かく主要事業が書いてありますが、その中で特にこれを、ということなのですね。</p> <p>はじめに子ども会活動の話もたくさんありましたが、よろしかったですか。</p>
大石 委員	基本施策の中の小さな4本柱がありますね、その4本柱の中からそれぞれ重点施策が1つずつ出てきてもよいのかな、という気がします。
吉村 会長	基本施策の4本柱の中からね。どうでしょうか。
三宅 副委員長	基本施策があるわけですから、基本施策の中で、どれに力を入れるか、たとえば、「(1) 乳幼児期からの教育の充実」の中では、3つある施策の中の何を重点にするのか、その次の「(2) 健全な青少年を育成」では何を重点にするのか、(3)、(4)では何を重点とするのか、というようにピックアップしていくなら、私は整合性がとれると思いますが、今の重点施策では、これだけ説明してきて、なぜこれだけなのだろうか、とってしまいますね。

三宅 副委員長	<p>せっかくこの基本施策があるのですから、やはり4つの基本施策の中から重点施策として1つずつピックアップして、そして、それについての基本施策の重点施策について目標指標を明確にして出していく、そうすれば整合性が出てくるのではないかな、と思います。そうしないと、目標指標がなぜあるのかよくわからなくなってしまいます。</p>
牧村 主幹	<p>ご意見をいただきながら、次回の会議までに事務局で検討させていただきます。ありがとうございます。</p>
吉村 会長	<p>基本理念、2つの基本目標があって、4つの基本施策があるので、それに基づいて重点施策を考えていけないかもしれませんね。一番前に重点施策があって、重点施策を説明してから、目標指標が出てくるとよくわかるかもしれませんね。</p> <p>そうしましたら、そのあたりのことはもう一度事務局のほうでご検討願うということではよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、第3章と第4章はよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
吉村 会長	<p>まだ、第5章が残っておりますので、第5章の説明を事務局からお願いします。</p>
小寺 補佐	<p>【大垣市青少年健全育成計画（素案）に基づき、「第5章 計画の推進」について説明】</p>
吉村 会長	<p>計画の推進ということで、進捗状況等については、大垣市教育振興基本方針推進委員会に報告して、年1回実施状況の把握や評価を行っていくというように、ここに、書いてあるとおりに推進していくということですが、このようではよろしかったでしょうか。</p>
委員	<p>【 発言なし 】</p>
吉村 会長	<p>このほかに、全体を通じて何かよろしいでしょうか。時間も過ぎておりますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
吉村 会長	<p>それでは、特に、ご発言もないようですので、「大垣市青少年健全育成計画（素案）」の審議はここまでとさせていただきますと存じます。</p> <p>次に、今後の進め方につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
小寺 補佐	<p>この会議につきましては、前回を含めて4回の会議を計画しておりまして、今回2回目ですけれども、今日いただきました意見に基づきまして、この計画に修正を加えさせていただきます。目標指数であるとか、重点施策については、また考え直す必要がありますので、これをまた次回の会議で修正案という形で提出させていただいて、意見を交換させていただくことになるとと思います。</p>

小寺 補佐	<p>それで1回目の会議のときに、3回目の会議の日程を11月17日と決めさせていただいたのですが、申し訳ありませんが同じ日に安八町で西濃地区の社会教育推進大会が開催されることになりまして、社会教育員で三宅副委員長と大石委員、そのほか事務局で、牧村主幹と林の都合が悪くなるということで、3回目の会議の日にちを変更させていただきたいと思います。</p> <p>それで前回、第3回会議の開催日を11月17日ということで決めさせていただきましたので、できればそのあたりで日程を前後させて、会議の開催日を変更させていただきたいと思っています。</p> <p>この策定委員会の委員さんはこの5人だけですので、5人全員の都合のよい日で決めさせていただきたいと思います。</p> <p>たとえば、翌日の18日の午後とかの予定はどうでしょうか。</p>
吉村 会長	17日の翌日ということで、18日の午後はどうでしょうか。
大石 委員	その日は、私は別の会議が入っています。
小寺 補佐	たとえば、16日、前の日はどうでしょうか。
大石 委員	私は、よいです。
三宅 副委員長	はい、私も大丈夫です。
長瀬 委員	では、私は皆さんにあわせませす。
小寺 補佐	吉村委員長、16日はどうですか。
吉村 会長	時間によりますが、2時からであればなんとか大丈夫です。
小寺 補佐	それでは、時間は今日と同じ2時からということで、いかがでしょうか。ご都合悪い方、みえませんか。
吉村 会長	16日は、皆さんよろしいですか。
日比 委員	はい。
吉村 会長	それでは、16日に変更させていただくということで、11月16日、火曜日ですね、よろしく願いいたします。
小寺 補佐	ありがとうございます。それでは、11月16日、午後2時から2時間ということで、会場につきましてはこれから調整させていただき、後日ご案内いたしますので、申し訳ございませんがよろしく願いいたします。
吉村 会長	それでは、11月16日火曜日、2時から第3回会議を開催するということで、よろしく願いします。

小寺 補佐	<p>それでは、議題の今後の進め方については、以上でございます。また、文書のほうで改めてお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。</p>
吉村 会長	<p>それでは、次に、次第の4、「その他」でございますが、全体を通じて、何かございますか。 よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>【 発言なし 】</p>
吉村 会長	<p>特に、ご発言もないようですので、これをもちまして、議事を終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p>
大山 課長	<p>ありがとうございました。 これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。 なお、次回は、ただいま決めていただきましたように、11月16日火曜日の午後2時から4時まで、ということでご予定いただきますよう、よろしくお願いいたします。 本日は、ご出席賜り、誠にありがとうございました。</p>